

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 6月9 日

【評価実施概要】

事業所番号	4790100087
法人名	医療法人 陽心会
事業所名	グループホーム大道が丘
所在地	那覇市字大道94番地3 3F (電 話) 098-885-0036
評価機関名	沖縄県社会福祉協議会
所在地	沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
訪問調査日	平成20年5月29日

【情報提供票より】(H20年4月30日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 19 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 7.5 人	

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	4 階建ての 3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	水光熱費200円/日 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食 円 昼食 円	夕食 円 おやつ 円	
	または1日当たり	1,200 円	

(4)利用者の概要(4月30日現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低 69 歳	最高 93 歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人陽心会 大道中央病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地の住宅密集地の一角に位置し、近隣に市場や医療機関、スーパーマーケットがありモノレール駅やバス停も近くグループホームとしては素晴らしい立地条件にある。建物は4階建の新築で、地域交流室、小規模多機能型居宅介護、グループホームと複合的に利用されそれぞれに交流ができる配慮がされている。母体となる医療法人は関連介護サービスも多数保有し、利用者にとっては緊急時や重度化に対応し安心できる施設である。重度化が進んだ利用者に対しても、職員の対応は丁寧である。利用者の穏やかな表情から、一人一人の意思確認をしながら支援している様子が伺えた。今後は認知症の専門施設として地域に開かれた活躍を期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 今回が初めての評価である 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員に自己評価を実施してもらい、管理者がまとめた。職員による評価の気づきや改善には至っていないが、外部評価の結果が出たら前向きに取り組みたいとの姿勢はある。
重点項目	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 第1回目を昨年の11月からスタートし、その後は2ヵ月に1回定期的に開催されている。構成メンバーは民生委員、行政担当者、利用者、家族、管理者、法人事務局長、介護支援専門員となっている。議題は事業所の報告が主で、委員からの意見による改善には至っていない。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見、苦情、不安への対応は、家族の面会時か、ケア担当者会議に家族が参加した時などに意見や苦情を伺うようにしている。さらに意見箱を職員から見えないところに設置し投函しやすいようにしている。受け付けた苦情等は手順に沿って処理されている。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近所を散歩しながらお花を頂いたり、近くの市場に買い物に行く程度で、地域との連携はこれからの課題である。

2. 調査報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念としてつくられているが、地域密着型サービスとしての地域に対する役割を目指した内容に欠けている。	○	現在の理念に、地域住民との交流の下でサービス展開ができる文言を追加し、地域との関係性を重視した理念が望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が理念を確認し共有する場面が少なく、理念を認識するまでに至っていない状況である。	○	一人一人の職員が理念を理解し認識できるよう、例えば、職員会議の時に唱和する等工夫をすることで共有を図り、日々のケアへの反映を期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開所1年目で体勢を整えるのに夢中で、地域活動にまで手が回らなかった。たまに散歩に出る時、向かいの家の植栽を覗いたり、花をもらったりする程度である。	○	まず、地域の一員として自治会加入を進めていただきたい。その後地域の行事への参加、認知症の専門施設として地域住民に対して研修や相談を実施するなど、グループホーム側から関わりを持たれることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価を実施し、管理者がまとめをしているが、改善に取り組むまでには至っていない。管理者及び職員は評価結果が出たら改善に取り組んでいきたいとの姿勢は伺える。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	19年度は11月に1回目を開催し、その後2カ月に1回定期的に開催している。審議内容としては、事業所からの報告が主となっており、これまでにサービス改善等に結び付いた実績はない。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在は、市の研修呼びかけに対して参加する程度である。	○	運営推進会議のメンバーである行政の担当を窓口として、包括支援センターの保健師や栄養士等との相談体制を密にし、サービスの質の向上に取り組んでいただきたい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等への報告は、面会時および通院付き添い時を利用して行っている。緊急の場合は、管理者か介護支援専門員が電話連絡している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や、3か月に1回のケアプラン見直しの際、ケース担当者会議に本人及び家族の意見を伺っている。なお、意見箱も職員から見えない場所に設置されている。受け付けた苦情は、手順に沿って処理され記録されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまでも離職者がいたが、なじむ前の短期間での離職であったため、利用者への影響は少なくて済んだ。今年度からは異動があったら、利用者に配慮し、家族にも伝えるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については、職員に伝達し希望者がいれば参加させている。なお、法人内研修は自由に参加できるようになっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は同業者団体との交流はない。	○	グループホーム連絡会等への加入を図り、連絡会等主催の研修会や見学実習などを通して、他のグループホーム職員との交流を積極的に行っていただきたい。またそこで同様な悩みを共有することで、日々の仕事を振り返り、新たな視点で、サービス改善につなげていただきたい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	帰宅願望が強く馴染めない状況の方に対して、定期的に職員が自宅へ同行し、庭の草むしりなどをしていく中で、落ち着いた一人住まいの方の事例がある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ベランダへの植栽をする時、農業をしていた方から、横に広がる苗は浅いプランターに植え、上に伸びる苗木は深めの鉢に植えるよう教えてもらうなど、日常的に利用者の知恵や知識を伝えてもらっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービスを利用する前に、本人や家族の意向をアセスメントシートに記入し、その意向が介護計画に反映されたかの確認が出来るシステムになっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントシートに記録されている、本人や家族の意向や課題が反映され、家族参加のケア担当者会議を経て長期目標、短期目標が設定された介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	急な状態変化が見られる以外は、モニタリング実践記録票により目標ごとに評価がなされ、定期的(3ヶ月毎)に介護計画の見直しがされている。見直しの時は、担当している職員から必ず利用者の状況を報告している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ショートステイ等の多機能サービスは開設3年未満のため対応はできないので、法人内の他サービスの利用を紹介し支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	グループホーム利用以前からのかかりつけ医の利用もあり、基本的には、通院は家族にお願いしているが、家族の都合がつかない場合や他科受診などは、職員が対応することもある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在入退院を繰り返している利用者がおり、主治医の意見では今後看護師が常駐する施設等への検討も必要ではないかとされ、主治医、家族も含めて方針の共有をしていく予定である。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りを損ねないように入浴、排せつ介助等同性介助を基本としているが、現在は利用者も職員も女性だけの状況である。トイレはドアのないカーテンだけの所を使用している。個人情報の保護については、記録開示の際も、他の利用者の情報が漏れないよう配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	とりたてて日課を決めているわけでもないが、利用者一人一人が何かをしているわけでもない。居室で寝ている方、食堂で座っている方等自由である。只、その過ごし方が、ご本人の希望に沿った暮らし方なのか判断しにくい状況である。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の席が決まっており、お互いに馴染みの関係の中で食事を楽しまれているが、職員が同席して一緒に食事をする場面はなく、利用者が配膳や片付けをする様子も見られなかった。	○	食事の見守りが必要な利用者が2、3人おり、家庭的対応としては、職員も一緒に食事をしながら見守っていける体制を検討していただきたい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	原則として、週3回は入浴することとし、曜日、時間等は自由に対応している。ただし、絶対的に入浴を嫌がる方に対しては、清潔の保持のため二人掛かりで対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割としては、洗濯物たたみ、野菜の下ごしらえ等、決まった方がやっている。また、もやしのひげ取りはほとんどの方が手伝う。楽しみごととして、習字の練習や本人の要望によりプールに泳ぎに行くなどの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近場の散歩、市場への買い物、ドライブ等実施されている。	○	散歩に行けない方、車いすの方なども身体状況に合わせて、屋外(階下)等で短時間でも日向ぼっこや外の風、季節感が味わえるように、日常的に外出支援をしていただきたい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	グループホームは3階にあり、1階は玄関ホールとエレベーターがあるが、1度不審者が入って来たことから、現在は安全のため鍵をかけている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	開所以来避難訓練等の実績がない。	○	早急に中央消防署と連絡を取り、避難訓練を実施して危機管理に努めていただきたい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月の体重測定、毎食の食事摂取量、バイタルチェック等利用者の健康面を全体的に把握している。水分摂取については、現在とりたてて管理を要する利用者はいないので、食事時、10時、3時と普通に摂取してもらっている。		栄養摂取の目安として、利用者それぞれのBMIの算定や栄養士による、献立表(使用後3ヵ月分)の確認等の検討が望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア(食堂)には、大きな文字のカレンダーや日めくりの暦が掲げられ配慮も見られるが、廊下の壁などは写真の掲示や折り紙細工が目立っている。	○	壁の装飾は、折り紙細工ではなく、家庭的な雰囲気づくりを意識した絵などの配慮をしていただきたい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	9部屋のうち6部屋を見せていただいたが、一部に家具や壁飾りなどはあるが、全体的に馴染みのものを揃えて欲しい状況であった。	○	ご家族とよく話し合い、ご本人のなじみのもので思い出のものなど揃えていただくことを期待したい。